

福祉援護センターに求められる新規事業の検討について

1 福祉援護センターのあり方に関するアンケート調査結果（P.22）

② 今後、福祉援護センターでは、どのような事業（サービス）を積極的に実施することが望ましいと思いますか？

No.	回答選択肢	回答数	回答率
1	現在実施している生活介護、日中一時支援、相談支援事業のより一層の充実	20	28.2%
2	これまで実施していない移動支援事業（送迎）	4	5.6%
3	これまで実施していない重度訪問介護や行動援護などの訪問系事業	1	1.4%
4	これまで実施していない緊急時の一時預かりや短期入所（ショートステイ）	19	26.8%
5	地域生活支援拠点等（障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制）としての役割	16	22.5%
6	わからない	8	11.3%
7	その他	3	4.2%
—	無回答	0	0.0%
合計		71	100.0%

※複数回答している回答者があるため、回答者数と回答数の合計が一致しない

2 これまでの福祉援護センターのあり方に関する懇話会での議論

- ・地域生活支援拠点等としての役割・位置づけ（岸川委員）
- ・モラトリウムセンター（専攻科）の導入（高谷委員）
- ・第1種社会福祉事業の実施（高谷委員）
- ・移動支援の実施（佐久間委員）
- ・医療的ケア児への支援（永田委員）

3 新規事業を実施するうえでの課題

市立の施設として求められる事業

- ① 現在、次期「よこすか障害者計画」を作成中（障害福祉課）
- ② 新たなサービスを実施するためには既存施設の改修や修繕等が必要

次期指定管理

応募事業者の「提案事項」とする？

要検討！